

# 仕様書

## 1 委託業務の名称

令和8年度富山県原子力防災訓練支援・評価業務

## 2 委託業務の内容

本業務は、令和8年度富山県原子力防災訓練において、訓練に係る企画・実施支援及び評価を実施し、訓練内容をより充実させた、適切かつ効果的な訓練を実施し、原子力防災体制や避難計画の充実・強化に役立てる。

## 3 委託期間

契約締結の日から令和9年3月19日まで

## 4 訓練概要

図上訓練（災害対策本部運営訓練）を10月中旬から11月下旬の間に実施（想定：1日9時～17時）する。

実動訓練（TV会議システムによる県災害対策本部員会議と志賀オフサイトセンターとの接続訓練を含む。）は11月に実施（想定：半日 8時～13時）する。

※図上訓練と実動訓練は別日に実施

## 5 業務内容

### （1）事業計画書の提出

受注者は、実施責任者を明示した実施体制表、実施工程、個人情報管理図を含めた事業計画書を契約締結後速やかに提出すること。なお、実施体制表については、本業務を統括する実施責任者の役職、氏名を明示すること。

### （2）県災害対策本部運営訓練支援

#### ア 状況付与計画の作成

図上訓練について、令和6年能登半島地震の教訓等を踏まえた状況付与計画及び応答要領を作成すること。

#### イ 支援体制

アを踏まえて当日コントローラーを富山県防災危機管理センターに2名以上配置すること。（訓練者への状況付与及び応答）

#### ウ 訓練内容の企画・提案

・原子力災害の事態区分（AL、SE、GE、OIL2等）に応じ、県災害対策本部の各班がどのような役割を果たすのか、訓練参加者に対し、訓練の開始前や事態進展時の説明の際に講義することとし、その講義内容及び訓練当日のスケジュールを提案すること。

- ・富山県防災危機管理センターの施設・設備※を活用した訓練内容を提案すること。
- ※ センターには常設の本部室・本部員室があり、映像情報システム（60型10面マルチディスプレイ）を設置
- ・富山県総合防災情報システム※を活用した訓練内容を提案すること。
- ※ 被害の発生場所、被害状況、人的・物的被害件数等を入力することで、被害状況を地図上などで視覚的に把握できるシステム。県危機管理局の職員がログインして作業することを想定。システムの画面はリアルタイムで映像情報システムのディスプレイに投影することを想定。

### （3）訓練評価

図上訓練（災害対策本部運営訓練）及び実動訓練（図上訓練とは別日に実施。）それぞれについて、下記のとおり評価を行うこと。

#### ア 訓練評価要領の作成

「原子力防災訓練ガイダンス 訓練の企画、実施、評価及び改善のあり方【令和2年3月：内閣府（原子力防災担当）】（以下「訓練ガイダンス」という。）」を踏まえ、「令和8年度富山県原子力防災訓練実施要領、富山県地域防災計画（原子力災害対策編）、富山県避難計画要綱」等をもとに、防災課と協議のうえ次の項目を含めた評価要領を作成すること。

（ア） 訓練概要（目的、実施項目）

（イ） 評価体制、評価方法、評価の観点、重点評価項目、成果のとりまとめ

#### イ 訓練参加者への評価の実施方法の説明

訓練当日に訓練参加者に対し、評価の実施方法について説明を行うこと。

#### ウ 評価の実施

（ア） 評価体制

重点検証事項等の評価を実施するため、富山県防災危機管理センター（図上訓練）及び実動訓練の訓練会場に評価員をそれぞれ2名以上配置し、訓練の計画状況を踏まえて柔軟に対応すること。なお、評価の対象とする実動訓練は、防災課との協議の上、決定するものとし、実動訓練の訓練会場までの交通手段及び移動経費については、受注者が確保、負担すること。

（イ） 評価員の要件

原子力防災に関する最新の知見を有し、かつ、訓練で実施する内容に関する知見（実務経験又は訓練企画、評価経験等）を有する者をもって評価員を構成すること。

（ウ） 評価の実施

評価員は、評価チェックリスト等に基づき評価し、講評の作成、活動状況の記録（写真撮影を含む）、評価記録等を作成すること。

（エ） 評価結果の整理・分析

防災課が訓練実施後に開催する振り返り会議に担当者を派遣するとともに、防災課が実施する訓練参加機関及び住民へのアンケート結果について集計を行

うこと。

評価員評価の取りまとめに際しては、訓練ガイダンスを踏まえ「良好な事項及び助長策」、「改善すべき事項及び今後の対策」に分け、「改善すべき事項及び今後の対策」については、具体的な改善方法及び当該方法を推奨する根拠についてもまとめるとともに、できるだけ、過去の訓練（令和3年度以降）からの改善状況を記載すること。また、訓練参加機関へのアンケート集計結果をもとに防災課が取りまとめる訓練参加機関による自己評価結果と防災課が別途配置する要員による評価結果について助言をすること。

(オ) 実施結果報告書の提出

(エ)を踏まえ、実施結果報告書を作成し、事前に防災課の確認を受けたものを令和9年3月12日（金）までに防災課に提出すること。

(カ) 実施結果報告書の製本

(オ)を製本し、令和9年3月19日（金）までに防災課に5部提出すること。

## 6 提出書類及び納入品目

### (1) 提出書類等一覧表

分類	摘要	部数	提出期限
事業計画書	実施体制表、実施工程、個人情報管理の管理体制図を含む	1部	契約締結後速やかに
打合せ議事録	打合せの記録	1部	打合せの都度作成し、打合せ後の1週間以内
訓練評価要領	評価の実施手順、チェック項目等	1部	防災課との複数回の打合せを踏まえたものを、防災課が別途指示する期限まで
状況付与計画及び応答要領	コントローラー対応用	1部	防災課との複数回の打合せを踏まえたものを、防災課が別途指示する期限まで
実施結果報告書※	全体をまとめた報告書	1部	令和9年3月12日
実施結果報告書の製本	実施結果報告書の製本版	5部	令和9年3月19日

※キングファイル（A4）に綴じ込み、インデックス整理のうえ提出すること。報告書及び報告書に埋め込まれている図や表の原稿や写真の電子データを、電子情報媒体にて1部付帯すること。なお、電子データは原則としてWord、Excel、PowerPointとする。（電子情報媒体は、報告書等とともにキングファイル（A4）に綴じこむこと。）

(2) 提出先

富山県危機管理局防災課（富山県富山市新総曲輪 1 - 7）

7 その他

本仕様書の内容に不明な点がある場合は、防災課担当者の指示に従うものとする。